＜先週の説教から＞

『ルツ記⑦―成り行きの定まり』

ルツ記 ３：１０～４：１ マタイ福音書 １：１８～２１

ルツ記の４つの章は、内容的に各々の章が“起承転結”になっています。３章の“転”はまさに最初の１節で、ナオミがルツに、夜中にボアズの寝床に入り、彼の衣の裾で身を覆ってもらうように申し出るようにさせます。女性からの求婚行為です。ただし、この行為をして、もしボアズから拒否され、近所の人々に知られてしまったなら『なんというふしだらな女だ』とか『やはり異邦の女は恐ろしい』等と言われ、もはやベツレヘムの町には住めない状況に陥っても文句は言えない行動でした。そこまでしなくてもと思う程の行動です。ただ、当のボアズはこの行為をしたルツに対して「今あなたが示した真心（＝ヘセド）は、今までの真心よりまさっています。わたしの娘よ、心配しなくていい。きっと、あなたが言うとおりにします」と語っています。これはルツのことを引き受ける（＝結婚する）という承諾の言葉です。今日の箇所で後にナオミがボアズのことを「あの人は、今日中に決着がつかなければ、落ち着かないでしょう」と言っていることから見れば、ナオミもこのボアズの反応を予想していたと言い得ます。だからこんな大胆な行動にも出られたのでしょう。これは決して一か八かの賭けで行っているのではありません。そこで不思議に思うのは、どうしてボアズはすんなりとルツを受け止められたのかという点です。勿論、ある程度の好意をルツに感じていたということはあったでしょう。また、義理の母親の面倒を見るために異国まで来て、かつ一生懸命に働いている姿に感心していたでしょう。ただ、ボアズはルツが自分に「真心」を示してくれたからだと言っています。これが何なのかということではないでしょうか？この「真心」と訳されている（ヘセド）は、神様の場合には「慈しみ」と訳されますが、人間に使われる場合はいろいろに訳されます。相手のことを重んじる、大切にするという意味で、ルツがボアズのことを特別に重んじているということになります。実はボアズより以上にもっとルツたちを引き受けるべき立場の人がいました。今日の箇所でも、ボアズ自身「わたし以上にその責任のある人がいる。その人が責任を果たすというのならそうさせよう。それを好まないなら、わたしが責任を果たします」と言っているように。つまり、ボアズの立場に立つなら、自分は二番目だと思っていたということになります。年齢的にも（＝ルツのこと娘と呼ぶ歳）自分はふさわしくないと思っていたと考えられます。だからこそ、ナオミはルツの行為を通して『あなたにこそお願いしたい』と彼女たちの方から申し出たのでしょう。このままではきっとボアズは自分がやると言い出さないだろうと思ったのです。ナオミの提案にルツも応じたことは、彼女もそう願ったということであり、こんなに思い切った行動をしてまで、自分を選ぶ＝重んじてくれたこと（＝ヘセド）をボアズは受け止めたのです。それだけ頼りにしてくれるなら答えたいと。この時、彼はルツとの結婚を決心したと言い得ます。しかし、だからと言って、ここでルツをわが物にするような行為を彼は取りませんでした。そのまま朝まで休ませて「まだ人の見分けのつかない暗いうちに」畑から帰らせたのでした。麦打ち場にルツが来たということが人に知られないためでした。あくまでルツの立場で考え、紳士的に振舞ったのです。これこそボアズのルツへの“ヘセド＝相手を重んじる”であったのです！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会Ⅰ.　12月 15日（水）20：00

Ⅱ.　12月 16日（木）10：30

聖　　書：　エゼキエル書

祈祷主題：　クリスマス礼拝を覚えて

担 当 者：　（水）小草　　（木）西尾

祈 る 人：　川島さん　　木川さん

ハンナの会：12月14日（火）10：30～

歓談の会：（婦人会）12月17日（金）13：30～

【教勢報告】

主日礼拝	男 19	女 60	計 79
祈祷会 Ⅰ.	男 5	女 3	計 8
Ⅱ.	男 3	女 11	計 14
日曜学校	幼稚科 10	小中科 11	計 21

【次週礼拝】　１２月　１９日（日）

聖　書：ミカ書　５：　１～３

ルカによる福音書 ２：１～１２

説　教：「クリスマス礼拝 ― ベツレヘムの馬小屋に生まれて」武田 真治 牧師

讃美歌：　２４２(１～４)、２４７(１)、３２、２７１(１)、２５６(１)、７８、９０(１)

【次週当番表】

司式:茨木長老　奏楽:中村 礼拝:齋藤長老

配餐：相浦　飯田　金刺　金刺　坂田　羽倉各長老

献金：伊藤　岩井 受付：鈴木　橋本

会堂準備小杉 冨澤 長田 橋本 北條

看板：土門 週報：吉岡 お花：羽倉

【次週集会予定】礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会

礼拝後：・オリブの葉編集委員会　・日曜学校教師会

６２－５０

週　報

2021年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２１年　１２月　１２日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33

TEL＆FAX　048－771－6549

http://www.ageo-church.org/